

季刊

社会福祉法人  
名古屋市総合リハビリテーション事業団

# オレンジロード

ORANGE  
ROAD

2018年  
冬号  
vol.16

## INDEX

- ◆身体障害者リハビリテーション研究集会  
2017報告
- ◆スポセンわくわくフェスティバル2017
- ◆自立支援部および高次脳機能障害支援  
説明会を開催しました
- ◆居場所・サロン事業報告(11月、12月、1月)
- ◆イベント情報
- ◆募集・事業所案内

発行：季刊オレンジロード編集委員会





山田センター長



北岡氏



秋山氏



野崎氏



秋山副センター長



## 身体障害者リハビリテーション研究集会2017報告



平成29年11月9日（木）～10日（金）の2日間にわたり、ウィルあいちにて「身体障害者リハビリテーション研究集会2017」を開催しました。今回、7年ぶりに名古屋が開催地ということで事務局としてセンター支援施設の職員が中心となり企画・運営に携わりました。

今回の研究集会のテーマは、社会的な流れとして地域包括ケア等が推進される中、今一度地域における障害者支援施設の役割や地域との連携について考えるきっかけになることを期待して『「自分らしく生きる」を支援し、つくり出す地域社会を目指して』と題されました。

会場には多くの施設職員が参加する中、山田大会事務局代表（当センター長）による開会のあいさつをはじめとする開会式の後、社会福祉法人グロー理事長北岡氏に基調講演「高次脳機能障害の家族との出会いで気がついたこと」をご講演いただきました。北岡氏は、社会的行動障害を有する高次脳機能障害者に対する支援や法整備の必要性についての思いや見解を語られ、会場の参加者は皆、その熱く刺激的な話を熱心に聞き入っていました。

続いての厚労省秋山専門官による行政説明の後、各会場に分かれて分科会を開催しました。分科会では例年「プログラムに関する取り組み」「地域移行等に関する取り組み」「就労支援に関する取り組み

み」「更生相談所の取り組み」という区分で研究発表を行っていましたが、今回は初めての試みとして「人材育成・広報・業務効率化に関する取り組み」という区分の分科会を開催しました。また、各分科会も研究発表に加え、厚労省専門官によるミニ講演や関係機関との座談会など工夫がなされ、どの会場もとても盛り上がり上がっていました。

2日目は厚労省政策企画官野崎氏に特別講演「我が事・丸ごと～地域での実践方法～」をご講演いただき、我が事・丸ごとに関する背景や地域の実践についてわかりやすく解説していただきました。

続いてのシンポジウムでは、地方厚生局地域包括ケ

ア担当課長（当事者家族）、回復期リハ病院、総合リハビリセンター（自立訓練施設）、地域の事業所といったさまざまな立場の方に登壇いただき、厚労省専門官による助言、当センター鈴木自立支援部長による進行のもと「連携」をキーワードに障害者支援施設の役割や専門性について議論されました。

そして、シンポジウムの余韻が残る中、秋山大会事務局副代表（当センター副センター長）による閉会のあいさつや次回開催地のあいさつを含む閉会式が行われ、2日間にわたる身体障害者リハビリテーション研究集会2017は閉会となりました。

たくさんのご来場、ありがとうございました。

# スポセンわくわくフェスティバル

## 2017



銀メダルを獲得された廣瀬誠選手

平成29年12月3日（日）に名古屋市障害者スポーツセンターにて「スポセンわくわくフェスティバル2017」を開催しました。

今回は「リオ2016パラリンピック競技大会」柔道60キロ級で銀メダルを獲得した廣瀬誠選手をメインゲストにお迎えし、柔道を始められたきっかけからパラリンピックの雰囲気や裏話等、さまざまなお話をさせていただきました。また、パラリンピックで獲得されたメダルや柔道の技も披露していただき、柔道の技が決まると大きな拍手と歓声が上がリ、会場は大いに盛り上がりました。

体育室のメインステージでは高針台中学校合唱部の合唱とハンドベルの演奏、白水保育園課外ダンスクラブのダンス、ダンスダンス・社交ダンスの発表、シンガーソングライターSHIROMI KIMIさんに歌を披露していただき、会場を盛り上げていただきました。また、体育室には実行委員による屋台もあり、多くの屋台で売り切れが出てしまうほどの人気となり、フェスティバルを大変活気づけてくださいました。

今年も非常に多くの方に来場していただくことができ、地域交流事業としてふさわしいフェスティバルになったと感じています。フェスティバルの会場設営や飾り付け、イベントや屋台の手伝いなどにご協力いただきましたボランティアや関係者の皆さま、ありがとうございました。



来場者の皆さんと最後に集合写真を撮りました！



## 自立支援部および高次脳機能障害支援説明会を開催しました



平成29年12月6日（水）と平成30年2月7日（水）に「自立支援部および高次脳機能障害支援説明会」を開催しました。例年同様、受付開始前から申し込みFAXが続々と届くなど、当センターへの期待の高さを実感しました。

今年度は新しい試みとして、施設見学の待機時間に名刺交換会を実施しました。参加者同士だけではなく、センター職員も、直接多くの方と交流を図ることのできる場になったと思います。

参加者アンケートの結果では、多くの方から参加して良かったとの回答を頂くことができました。また、自由回答では「説明と見学で理解が深まった」「敷居が高いイメージがあったが、また相談してくださいという言葉に安心した」「今後、患者さまに案内しやすくなった」等の声を頂きました。

今後も、地域の事業所や医療機関などの支援者に当センターの役割を広く的確に知っていただくため、説明会を開催してまいります。



## 居場所・サロン事業報告



平成29年11月28日(火)

### リハビリセンター見学会

11月

見学会では地域の方を対象に、センター職員による各部門の紹介を行いました。

障害者支援施設については生活支援課職員、病棟および外来については看護師、医療リハビリテーション部門については作業療法士より説明いたしました。また見学会と併せ、福祉用具のペットボトルオープナーの製作体験をしていただきました。職員による説明のもと、参加者の皆さんは談笑しながら体験されていました。



12月

平成29年12月20日(水)

### あなたは大丈夫？ ロコモティブシンドローム



「ロコモ」(ロコモティブシンドローム)とは骨・関節・筋肉といった運動器機能が衰えることにより「立つ」「歩く」といった機能が低下している状態、いわゆる足腰が弱った状態を指します。

今回は福祉スポーツセンターのスポーツ教室と共同で①ロコモ度チェックテスト(下肢筋力判定、歩幅判定)と身体状態・生活状況の自己判定②保健師による講話③体育指導員によるストレッチなどを実施しました。

平成30年1月25日(木)

### 生活に役立つ！ 簡単に便利な福祉用具



福祉用具プラザの職員を講師に迎え、福祉用具の説明の後、福祉用具を実際に見て触れて体験をしていただきました。

その後は、プラザ職員の説明をもとにソックスエイドの製作体験を行いました。参加者の皆さんは談笑しながら楽しそうに製作体験されていました。



1月

今後も地域にお住まいの皆さまにとってお役に立てるよう、いろいろなご相談をお受けできるよう取り組んでまいります。

## イベント情報

### 第15回 名古屋市障害者スポーツ大会 (陸上競技・フライングディスク・レクリエーションの部)

日程：平成30年5月6日(日) 9:30~15:00(予定)

場所：パロマ瑞穂スタジアムおよびパロマ瑞穂北陸上競技場  
(名古屋市瑞穂区山下通5-1)

参加申込は終了しましたが、興味のある方は観覧にぜひお越しください。  
詳細は事業団ウェブサイトまたは下記問い合わせ先へ。

◎問い合わせ：名古屋市障害者スポーツセンター  
電話：052-703-6633 FAX：052-704-8370



上記の他、大会情報は随時事業団ウェブサイトに掲載しますので、ぜひご覧ください。

### ●前期家族介護者教室「楽しく介護のすすめ～心と体の健康講座～」

対象者：介護に関心のある方。

名古屋市内北部・東部・西部・南部・中部で実施。各4回。

- ◆ 東部介護者教室「暮らしを豊かに」 場所：名古屋市障害者スポーツセンター2階会議室 定員：30名
- 5/31(木) 食べて学ぶ！ 食べやすい食事と簡単調理
- 6/ 7(木) 家庭でできる感染予防
- 6/14(木) 生きることは食べること ～元気なお口は健康の源～
- 6/21(木) アロマセラピーと香りの小物作り



- ◆ 南部介護者教室「介護の準備学」 場所：名古屋市総合リハビリテーションセンター 定員：40名
- 6/19(火) 介護の準備学 ～マネー編～
- 6/26(火) 訪問介護 ～介護保険でできること・できないこと～
- 7/ 3(火) 介護予防 ～地域でつながるメリット～
- 7/10(火) 高齢者施設の選び方 ～入居探しの不安を解決しよう～



日時、場所、申込方法等詳細は事業団ウェブサイトまたは下記問い合わせ先へ。

◎問い合わせ：なごや福祉用具プラザ 電話：052-851-0051 FAX：052-851-0056

事業団ウェブサイト <http://nagoya-rehab.or.jp>

# 事業団職員大募集

## 「私たちと一緒に働きませんか」

▶現在募集中

嘱託職員

嘱託ケースワーカー、嘱託言語聴覚士、嘱託調理員、嘱託精神保健福祉士、  
相談員(住宅)、プール監視員、介護補助、調理補助、病棟業務補助

お問い合わせ先

社会福祉法人名古屋市総合リハビリテーション事業団  
総務部総務課 採用担当  
〒467-8622 名古屋市瑞穂区弥富町字密柑山1番地の2  
電話番号 052-835-3811



最新の募集情報、待遇の詳細は事業団ウェブサイトをご参照ください。

事業団ウェブサイト

<http://nagoya-rehab.or.jp>



事業団公式Twitterはじめました!

名古屋市総合リハビリテーション事業団@公式 → @nagoya\_rehab

## 事業所案内

・名古屋市総合リハビリテーションセンター

・福祉スポーツセンター

・障害者就労支援センター めいりは

〒467-8622

名古屋市瑞穂区弥富町字密柑山1番地の2

電話：052-835-3811 FAX：052-835-3745

・瑞穂区障害者基幹相談支援センター

・地域活動支援センター つきみがおか

〒467-0035 名古屋市瑞穂区弥富町月見ヶ岡5

NTT西日本八事ビル1階

電話：052-835-3848 FAX：052-835-3743

なごや福祉用具プラザ

〒466-0015

名古屋市昭和区御器所通三丁目12-1

御器所ステーションビル3F

電話：052-851-0051 FAX：052-851-0056

名古屋市障害者スポーツセンター

〒465-0055

名古屋市名東区勢子坊二丁目1501番地

電話：052-703-6633 FAX：052-704-8370

西部リハビリテーション事業所

〒453-0855

名古屋市南村区烏森町六丁目298番地

電話：052-486-2400 FAX：052-471-3710

平成30年  
3月末に閉鎖  
いたします